

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査日	2018年	1月	29日	記入者	小倉つき子
調査者名	小倉	亀田	鈴木	橋詰	

調査対象先	安倍文殊院(華嚴宗)				
所在地	桜井市安部645			電話番号	0744-43-0002
代表者 調査対応者	植田俊應 貫主				
対象文化財	彫刻	県指定:	件	国宝:	1件
	建造物	県指定:	1件 1棟	国宝:	1件 1棟
	重文:		件	重文:	1件 1棟

地震対策

①対策の現況	<input type="radio"/> A:実施済 <input checked="" type="radio"/> B:一部実施済 <input type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	耐震工事は実施していないが、平成10年の台風7号のとき、本堂の屋根が吹き飛ばされ、空葺き屋根に(屋根の軽量化)。翌平成11年には全建物の屋根を空葺きに修復(現在、県指定の庫裏を含め土がのっている屋根はない)。
	今後の予定	2020年、国宝木造騎獅文殊菩薩及び脇侍像4軀を安置している収蔵庫の耐震工事の実施を、文化庁に要請している。
	要望	文化庁への要請が承諾されることを期待。
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他()
	今後の予定	
	要望	

防火対策

①対策の現況	<input type="radio"/> A:実施済 <input checked="" type="radio"/> B:一部実施済 <input type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	当寺院には通常用水池100個分の貯水量の池があり、放水銃などの設備の必要がない(地元のための用水にもなっているため、水を抜くための樋の工事を実施)。消火器・火災報知器・避雷針は各建物に設置。
	今後の予定	避雷針は年2回の点検。消火訓練は年1回実施。放水による訓練は十分な貯水があるため、特にしていない。
	要望	特になし。
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他()
	今後の予定	
	要望	

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査対象先

安倍文殊院(華厳宗)

獣害・白アリ等の対策

① 獣害等被害	<input checked="" type="radio"/> A: 経験あり	<input type="radio"/> B: 経験なし
② ①の回答が Aの場合	どのような被害か	ハチの巣は作られたことがあるが、業者に依頼し駆除。シロアリは建物修復の際、事前に駆除対策を実施。獣害はない。
③ 今後	今後の予定、要望	従来のように建造物の修理などの際に点検し、被害が出ないように早めの対応をしていく。

大神神社大御輪寺から移建された県指定の庫裏



昨年取り替えられた火災報知器の受信板



深さ4~5mある、地元の用水にもなっている池



水を抜く、手動式の樋(写真左)から電動の樋に新設



白山神社本殿(重文)



【調査票記入者(小倉つき子)の感想】

多くの国宝や重文を有する安倍文殊院だけあり、災害に対する設備は充実している。かつて台風で損傷した本堂を自費で修復し、全建物の屋根も軽量化。寺院の繁栄維持のための努力が伺われる。